

イラストレーター



あるあるネタ

1. 「趣味ですか？ 仕事ですか？」と聞かれて、答えに3秒以上かかる。
2. 朝描き始めたら、気づいたら夕方までコーヒーすら冷えている。
3. 修正指示の「もう少しやわらかく」が一番ハードな指示だったりする。

初期の失敗

初めて受けた仕事で、解像度設定をミスして納品後に印刷ができないという事態に。以後「サイズ・解像度・カラーモード」の三点チェックが習慣になりました。

職業病

電車内の広告やコンビニのおにぎりパッケージを見ると、「この線のタッチ、いいな…」と解析が始まる。さらに、食べ物の写真を見ると「塗りで再現できそう」と考えてしまう。

健康問題

液タブ・ペンタブの長時間使用により腱鞘炎や肩こり、そして眼精疲労に悩まされがち。加えて生活リズムが不規則になりやすく、自律神経のバランスが崩れる人も多いです。

その職業に就いている人を讃える

あなたは感情を線と色で翻訳する静かなストーリーテラーですね。なぜなら、言葉では伝えきれないニュアンスを、表情一つ、構図一つ、色合い一つで人の心に響かせることができるからです。あなたが描いたキャラクターが“推し”になり、あなたが表現した世界が誰かの救いになる。そして何より、“描き直し10回目”でも顔色一つ変えずに向き合うその職人魂に、深い敬意を送ります。どうか、筆圧と共に自分の心にもやさしく、これからもたくさんの「描いてくれてありがとう」を生み出し続けてください！